

平成30年度第2回奥出雲町総合教育会議 会議録

日 時 平成31年3月15日(金)
 開 会 15時00分
 閉 会 16時15分
 場 所 奥出雲町役場仁多庁舎 3階 301会議室
 出席委員 勝田康則町長 塔村俊介教育長 福田充雄教育長職務代理
 荒金勇吉委員 谷尻圭子委員 松原律子委員
 事 務 局 江角浩司総務課長補佐 佐伯
 堀谷智樹教育魅力課長 長谷川史郎教育魅力課長補佐

総務課長補佐

※開会宣言

勝田町長

(挨拶)

塔村教育長

(挨拶)

<協議・調整事項>

塔村教育長

町立小学校再編方針について

※内容の説明 奥出雲町立小学校再編方針(素案)

谷尻委員

とてもつらい決断ですが、方針を読むと学校再編をしなければと思います。学校訪問をさせていただくと、小規模校は授業を工夫しながら頑張っているということがわかりました。でも、これから生きる子どもたちは、たくさんの人の中で多様な考えを持っている同年代の子どもと意見を交わし合い、6年間を過ごすことが必要であると感じています。保護者や地域の皆さんの思いはありますが、集団の中で奥出雲の良さや素晴らしさを体験させてから町外に出すことは大切です。また、町に戻ってくる子に育つことも期待できます。

福田職務代理

学校再編になると、目の前のことと将来のことが混同してしまうので丁寧な説明が必要です。奥出雲町教育魅力化協議会が話し合いを進めている教育ビジョンを示し、この教育ビジョンに示された子どもを育てるための再統合だというように説明しなければ伝わらないと思います。地域の皆さんにもしっかり意見を出してもらい、その意見に込められた意図を読み取りながら、こちら側の意見を出しつつ学校再編を進めていければと思います。1学級の適正人数は20人程度だと経験上思っています。将来的な学級人数も視野に入れて考えていきたいです。

| | |
|--------|---|
| 荒金委員 | <p>福田委員の言うとおりでと思います。個人的には学校再編はしたくないけれど、子どもの育ちを考えると学校再編は必要だと感じます。この資料を読み解けば、どういった学校になるかわかりますが、なかなか数字を読み取るのが難しい人もいます。学校が迎える将来の姿をわかりやすく見える化する必要があると思います。現場を知らない人にとっては「何がいけんの？」としか思ってもらえないので、理解してもらえそうな丁寧な説明が大切だと思います。学校再編をしたら良いことがあるということが胸を張って言えるようなものになってほしいです。小学校はなくなるけど、各地域で新たなことが起こっていくような明るい展望がみえるかたちにしてほしいと思います。子どもの人数の減少に仁多地域、横田地域で違いがあるので、それを分析してみるのはいかがでしょうか。</p> |
| 松原委員 | <p>今の子どもたちが奥出雲町でいろんなことを吸収していくには再編が必要だと考えます。小さいことに囚われないで大きな将来に向かって進んでいく時期になっていると思います。学校再編は強行という場面が多々あるかと思いますが、子どもたち、保護者、地域の皆さんのことを考えて、みんなが嫌な思いをすることなく明るい展望を持ってスタートを切って欲しいです。</p> |
| 谷尻委員 | <p>以前に学校再編の答申が出てから何もすることなく10年が経過してしまい、学校再編に対して教育委員会や町の立場が弱くなっているのではないのでしょうか。学校区ごとの将来推計（子どもの人数）を見ると地域の皆さんも危機感を感じられると思います。今の機会を逃せば、消滅することが考えられます。今は小学校の再編ですが、いずれは中学校も危ないのではと個人的に思っています。</p> |
| 勝田町長 | <p>井上前町長の方針では学校を再編しないということにしていました。しかし、私の在任中に高田小学校と亀嵩小学校が統合することになりました。その統合をきっかけにいろんな方と話し合い、高尾地区の方には小学校も統合する意思をお持ちなら全面的に協力しますと話しましたが、過去に統合が実現しなかったこともあったせいか、あまり進展がありませんでした。ご意見があったように、このデータを誰もがわかりやすいように示したいと思います。町民との話し合いを重ね、バス通学などの手立てをしっかりとすれば学校再編はできると思います。10年、20年、30年を見越した行動をすることは町民にとって良いことです。現在、各地区で行っている小さな拠点づくりでも学校がなくなるという意見が出てきています。学校がなくなると過疎が進むという話もありますが、思い切ったことをしなければいけない時期になっていると思います。将来の奥出雲町教育行政を推進するには、切羽詰まった状態になっています。</p> |
| 福田職務代理 | <p>学校再編方針を策定するにあたり、教職員の意見は聞かれましたか。</p> |
| 塔村教育長 | <p>校長や教員にとっては、子どもの人数が少ないことを理由に学校再編に踏み切っ</p> |

| | |
|-------|---|
| | <p>てほしくないという意見を聞いています。私が伝えているのは、学校再編の方針を出すけれど、今の教育を否定しているものではないということ。ただ、それを最大限に伝えたいと解決できないこともあるので、それを教育委員会で解決すると伝えています。学校を統合にするにあたり、統合しない学校が出てきた場合、地域の思いのもとに残したということは意味があることだと思います。統合せず単独で続けた場合でも何年後かには統合をしたいという時には、スムーズに学校再編につなげるような体制をつくりたいと思っています。</p> |
| 谷尻委員 | <p>教職員が必死で子どもたちと向き合っていることはわかりますし、その必死さが伝わってきます。でも20人規模の学級で意見を交わしながら小学校の6年間を過ごす、子どもの育ちが違ってくると思います。また、男女比も子どもの成長に影響するかもしれません。</p> |
| 松原委員 | <p>保護者の反応はどうでしょうか。</p> |
| 塔村教育長 | <p>これから、この方針をもとに説明する予定です。反応はアンケートの結果通りではないかと思います。反対の方はもちろんいらっしゃいますし、自分の子どものことを考えると再編は必要と考える人もいらっしゃいます。方針が出てない中で、区域外通学の申請を出される方がいたり、住居を建てるときに大きな校区内に移転したりする事例があるので、現実的に学校再編が必要だと感じています。</p> |
| 松原委員 | <p>高校の進学と同じような状況になっているみたいですね。</p> |
| 勝田町長 | <p>それではこの奥出雲町立小学校再編方針で今後も臨んでいくこととしてよろしいでしょうか。</p> |
| 全員 | <p>はい。</p> |
| 勝田町長 | <p>全員に賛同いただきましたので、素案ではなく正式な奥出雲町立小学校再編方針として、町民の皆さん、議会ですっかり説明していきたいと思います。よろしくをお願いします。</p> |
| 塔村教育長 | <p>今後の予定ですが、3月18日に議員の皆さまに説明します。そして議会の最終日をもって、いただいたご意見を踏まえ、学校再編についての方針を山陰中央新報社に伝えようと思います。また、4月の自治会長会で学校再編について簡単に説明し、各地区へ詳しい説明に行くこととします。町広報4月号でも掲載し、広く周知を図りたいと思います。</p> |
| 谷尻委員 | <p>自治会によって伝達に差があることを承知しておいてください。また、幼稚園の</p> |

保護者、教職員にも学校再編の方針を伝えていただきますようお願いします。

総務課長補佐

※閉会宣言

会 議 録 署 名

町長

勝 田 康 則

教育長

塔 村 俊 介